

第12回ファミリーホーム全国研究大会 in OSAKA



DREAMS COME TRUE

～みんなで描こう未来予想図～



大会要項

大会趣旨

子どもたちが、夢や目標を描いて、未来を見て生きていってほしい。という願いを込めて、今大会のテーマを「DREAMS COME TRUE ～みんなで描こう未来予想図」としました。子どもたちの持つ「生きる力」を信じて、出来ない事や弱い所は誰かに助けてもらいながら、自分自身の人生を自分で切り開いていく。という希望を持つことに繋げていきたいと考えています。

子どもたちが自分で思い描く、未来予想図の主人公として生きていけるようなサポートをしたいと思い、そのためのプログラムとして、近畿ブロックで大注目の「FamiZania」(お仕事体験)を全国大会で初開催し、子どもたちの夢や目標を持つきっかけ作りをしたいと思えます。

また、大人もファミリーホームの未来を皆で話し合い、語り合い、ファミリーホームの進むべき、未来予想図を描けるような大会にしたいと考えています。 大阪大会実行委員長 荘保 共子

開催日：2017年8月4日(金)～5日(土)

会場：ホテル阪急エキスポパーク

大阪府吹田市千里万博公園1-5

大阪モノレール「万博記念公園」駅下車 徒歩5分

主催 一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会

企画・運営 日本ファミリーホーム協議会 近畿ブロック 大阪大会実行委員会

後援 厚生労働省・大阪府・大阪市・堺市・吹田市
全国社会福祉協議会・全国児童養護施設協議会・全国乳児福祉協議会
全国里親会・大阪府里親連合会・大阪市里親会・堺市里親会
全国児童家庭支援センター協議会・全国自立援助ホーム協議会
大阪府社会福祉協議会・朝日新聞厚生文化事業団

－ 大会プログラム －

8月4日(金) 〈1日目〉	12:00	受付開始
	13:00	開 会 式
	13:35	基調報告 日本ファミリーホーム協議会 会長 ト蔵康行
	14:15	休 憩 FamiZania 中継・見学
	14:45	シンポジウム 「ファミリーホームと自立支援」
	17:00	移 動 子どもお迎え、チェックイン
	18:00 ∪ 20:00	懇 親 会

シンポジウム概要

ファミリーホームと自立支援		
	お 名 前	所 属
シンポジスト	調整中	厚生労働省
シンポジスト	古川 健一	大阪府福祉部子ども室家庭支援課
シンポジスト	津崎 哲雄	京都府立大学名誉教授
シンポジスト	前川 順	ジュンブライダル 代表取締役
シンポジスト	北川 をさみ	ゆんたくホーム
シンポジスト	荘保 共子	こどもの里ファミリーホーム
コーディネーター	野口 啓示	福山市立大学教育学部・野口ホーム
<p>これまでも里親宅で暮らす子どもたちの自立は大きな課題であった。自立ありきの焦った就労を選ばざるを得ない場合、そのあとの早期の離職につながりやすく、後手に回ったアフターケアの必要な子どもたちも少なくない。そんな状況を少しでも改善する手伝いがないかと京都において、京都中小企業同友会による児童養護施設ならびにファミリーホームの子どもたちを対象とした適職探索支援が始まった。具体的には就労体験実習の受け入れを行っている。本シンポジウムでは、京都中小企業同友会の取り組みを紹介してもらうとともに、これから求められる自立支援の在り方についてシンポジストそしてフロアの参加者とも意見交換しながら考えていく会としたい。</p>		

－ 大会プログラム －

8月5日(土) 〈2日目〉	8:30	受付開始
	9:00	分科会
	11:00 ∩ 13:00	休憩・昼食 映画「さとにきたらええやん」鑑賞 ※自由参加 昼食を食べながら見れます。
	13:00	分科会
	15:00	移動 休憩
	15:15 ∩ 15:45	閉会式 各分科会報告、子どもプログラム報告

分科会①

午前

中小企業家同友会との協働(就職に向けた取り組み)とアフターケア		
	お名前	所 属
司会者	武村 薫	かずみファミリーホーム(滋賀県)
報告者	前川 順	ジュンブライダル 代表取締役(京都府)
報告者	村田 健二	株式会社 村田自動車工業所 代表取締役社長(滋賀県)
報告者	調整 中	滋賀の縁創造実践センター(滋賀県)
<p>近畿ブロックの各地で、各地域の中小企業家同友会との協働で、社会的養護が必要な子どもたちへの就職に向けた取り組みがスタートしている。この分科会では、これまでの就職に向けた取り組みの報告と、見えてきた就職支援におけるメリットや課題、また就職後のアフターケアについても話し合いたいと思います。</p>		

午後

弁護士に聞く養育者として知っておきたい法律的知識		
	お名前	所 属
司会者	橋本 直之	みんなのあみさかOYASATOホーム(大阪市)
助言者	岩佐 嘉彦	弁護士 大阪弁護士会 こどもの権利委員会
<p>生き辛さを抱える子どもを守り、問題行動を防ぐ関わり方の概略を学ぶとともに、予め抽出した質問事項を中心に、実際のファミリーホームの生活の中で起こった、具体的な問題や困難な状況について、弁護士の立場から法律的なアドバイスをうけ、養育者として社会的解決を果たす上での資質の向上に資する。また、参加者の質問タイムを設けて問題認識の共有を図る。</p>		

分科会②

こどもの最善の利益を鑑みながら、新たな虐待・貧困の連鎖を断ち切る、地域での「子どもの居場所」としての「これからの里親・ファミリーホームの役割」

	お名前	所属
司会者	住友 脩	大阪府NPO法人 子ども自立支援 スマイル 代表理事
パネリスト	浜田 進士	自立援助ホームあらんの家ホーム長
		こどもの権利条約総合研究所関西事務長
パネリスト	市橋 隆	大阪市こども相談センター 虐待対応担当課長代理
パネリスト	中村 みどり	NPO法人Keyassetsスーパーバイズソーシャルワーカー
		CVV(childrens-Views-&-Voices)副代表
パネリスト	荘保 共子	大阪市NPO法人こどもの里理事長
		こどもの里ファミリーホーム長

家族の中の暴力（DVや児童虐待）被害は、子どもたちにとって“異常”な状況です。その中で、子どもたちは心身にいろんな影響を受け、様々な反応（問題行動や症状）を現します。このような症状は、実は過酷な状況を生き延びるために子ども自身が手にしたサバイバル手段で、このような反応を出すことが、むしろ“正常”であるとも言えます。私たちは大人から受けた「異常な状況」に親から切り離され、傷ついた心に揺さぶられ、もがきながら、何とか生きようとしている子どもたちを引き受け、ともに生活しています。大人への信頼を持つことの出来なくしてしまった子どもたちと向き合い、信頼関係の再構築と、同時に育まれる自己肯定感の再構築を目標に、私たちは日々奮闘しているのが現状です。私たちは、児童相談所からの措置児童を受けるだけでなく、身近な地域の子どもの困難に目を向けSOSに気づき、自己肯定感を持って生きていけるように支援することにも、これからの重要な役目と考えます。

「里親・自立援助ホーム・ファミリーホーム」の管理者と当事者と児童相談所のそれぞれの立場からのご意見を頂き、分科会を開催します。

提言

全ての子どもが生まれた場所や環境に左右されずにいきいきと人として生きられる様、小地域の中で子どもとその家族が自由に訪れ、遊び、話す事のできる場・要保護な子どもと家族を支援する場としての「居場所」＝「里親」の保障を求めます。それが虐待防止と貧困対策になります。

分科会③

ファミリーホームの未来予想図

	お名前	所属
司会者	松野 誠	ファミリーホーム松野（兵庫県）
助言者	久保 樹里	大阪歯科大学 医療保健学部
発表者	稲垣 りつ子	稲垣ファミリーホーム（広島県）：里親型
発表者	荒木 博和	ファミリーホームクローバーの家（和歌山県）：NPO法人型
発表者	石井 勲	やわらぎの家（大阪市）：社会福祉法人型
発表者	小松 拓海	ワンズハウス（神戸市）：職員独立型

ファミリーホームの未来予想図を皆で語り合い、実現のための要望書を分科会の中で作成し、閉会式で会長へ渡す。発表者からは、それぞれの形態でのファミリーホームにおけるメリット・デメリット、課題等を現場からの声として報告していただきます。次回の近畿ブロックでの全国大会開催時（8年後?!）に、分科会「ファミリーホームの未来予想図Ⅱ」として、どれだけ要望書の内容が実現されているのかを検証する。

分科会④

子どもの養育と親支援：サインズ・オブ・セーフティを使った新たなアプローチ		
	お名前	所属
司会者	野口 啓示	福山市立大学教育学部・野口ホーム
助言者	渡邊 直	千葉県市川児童相談所
報告者	高下 洋之	大阪市こども相談センター
<p>現在、ファミリーホームにはたくさんの被虐待体験を持つ児童が入所してきた。そして、その子どもたちの親との関係に配慮が必要なケースも増加している。また、現実として、親と共同し家族再統合をすすめるが、うまく行かずに苦労した経験を持つことも珍しくなくなってきた。そこで、本分科会では、家族支援を行う新しいアプローチとして注目を集めているサインズ・オブ・セーフティを紹介するとともに、事例検討を行う。なお、サインズ・オブ・セーフティとは「児童虐待事例で、子ども・家族とパートナーシップを築きながら、厳密な意味で、不適切な養育を改善することはどうやってできるのか？」に応えるケースマネジメントのモデルである。</p>		

分科会⑤

実子のケア ～参加者の語り合いを通して考える～		
	お名前	所属
司会者	旭 比呂子	さざんかホーム（奈良県）
助言者	山本 真知子	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科
発表者	調整中	
<p>去年に引き続き、今年の研究大会でも実子の分科会を持ちます。ファミリーホーム・里親家庭の実子は勿論のこと、養育者・補助者・一般の方も参加可能です。当事者同士（実子同士、養育者同士など）の語り合いを通して、実子を取り巻く環境、課題、困りごとなどの情報の蓄積を行い、実子のケアには何が必要か考えます。</p>		

お問い合わせ先・・・

大阪大会事務局 小松拓海（ワズハウス・神戸市）
子どもプログラム 小松奈央（ワズハウス・神戸市）
TEL/FAX 078-219-8577
E-mail wanzuhausu@yahoo.co.jp

FamiZania/ワークショップ 野口 婦美子（野口ホーム・神戸市）
TEL/FAX 078-751-2503
E-mail fmi24jp@yahoo.co.jp

参加・宿泊・懇親会・昼食・変更・取消に関して

(株)トラベルファイブジャパン

担当者：内垣内（うちがきうち）・泉岡（いずおか）

TEL 06-6253-0212 FAX 06-6253-0679

E-mail uchigakiuchi@travel-5.jp

受付時間：平日 9：00～17：30

※土曜・日曜・祝日はお休み